

調査実施要領にありますように、本調査結果は、学力や学習状況の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面ではありますが、学校として以下の結果について真摯に受け止め、子どもたちの学力並びに学習意欲の向上に努めてまいります。保護者のみなさんのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

【学力状況調査】 <学習指導要領の領域の平均正答率の状況>

【 国 語 】		【 数 学 】	
本校 本校 大阪府（公立） （1）言葉の特徴や使い方に関する事項 （2）情報の扱い方に関する事項 （3）我が国の言語文化に関する事項 （4）読むこと （5）書くこと A 話すこと・聞くこと B 書くこと C 読むこと		本 大阪府（公立） 全国（公立） A 数と式 B 図形 C 関数 D データの活用	
全体的な状況 全国平均にやや及ばずという結果だったが、「知識及び技能」における「情報の取り扱いに関する事項」の領域においては全国平均を上回る結果だった。一方で、「書くこと」の領域において全国平均を下回り、苦手意識が目立つ傾向が見られた。無解答率に関しては、概ね全国平均より低いといえる。 成果 「情報の取り扱いに関する事項」の領域において全国平均を5ポイント上回るものもあり、授業内で「具体化と抽象化」について意識的に学習に取り組んできた成果と考えられる。また、複数の箇所に意識を段階的に向ける必要のある複雑な問いについても、意欲的に取り組む生徒も着実に増えている。		全体的な状況 全国平均51%に比べ-6.5%という結果だった。知識・技能の「数と式」に関する問題の正答率は府平均と比べて少し下回っており、「データの活用」に関する問題では-8.7%と府平均と大きな差が見られた。選択式の問題の無回答率は低いが、記述式の問題の無回答率が全ての問題で府より上回っていた。 成果 知識・技能の「数と式」の範囲において、“等式の変形”は府平均より上回っており、知識・技能の「数と式」他の間においても府平均に近い結果になっていた。これは授業の初めに毎回行っている復習の成果だと考える。	
課題 ・「書くこと」の領域においての正答率が低い。 ・文章と図を結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈する力に課題がある。 ・表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるよう工夫する力に課題がある。 課題解決に向けた取組み ・授業において、複数の箇所を照らし合わせるなど、時間をかけてじっくり文章に向き合って読む活動を増やす。 ・考えが他者に伝わるように自分の文章にじっくり向き合う機会を増やすため、考えをまとめ、書くための時間を増やす。		課題 思考・判断・表現の「数と式」の“式の意味を読みとること”や“数学的な表現を用いて説明すること”の問題に関して、正答率は府平均と大きな差は見られなかったが、無回答率が高く、記述式の問題に対する苦手意識が見られた。 課題解決に向けた取組み ・今後も授業のはじめに取り組むダッシュを使って、知識・技能の「数と式」の復習に取り組む。 ・府平均と差が大きかった「データの活用」に力を入れる。 ・一部でも考えが表現できるよう記述式の問題の書き方を授業で時間をかけて取り組む。	

【学習状況調査】

状況が良好な主な項目				本校	府	全国
学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか				92%	80%	81%
学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができ				86%	79%	78%
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか				98%	90%	90%
全体的な状況						
・ほとんどの項目において、府や全国平均を上回る結果が出ております。						
・上記の他にも「困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」「総合学習では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか」の項目も全国平均+5ポイント以上上回っています。						
成果						
・1年生の頃より、仲間づくりの取り組み等を通して集団作りを意識して学年行事を企画してきた。それにより、生徒同士の横の繋がりがりや自治力を高めることが成果として表れている。行事や各種取り組みにおいて、代議員や専門委員、班長を中心とした話し合いをもとに進めてきたので、学級の中で安心して意見が言える雰囲気が確立してきた。また代議員を中心にクラスの良い所や課題を明確にし、クラスや学年で取り組んでいく目標を学年集会等で全体に周知し、各自が意識することができた。また、学級通信や学年集会を通じてクラスで頑張った人の紹介や表彰を行い、お互いのいい所を見つけ、認め合う雰囲気が確立出来た。これらの成果を存分に生かし、進路に向けてもクラスや学年で協力して受験に向かう意識づくりや雰囲気づくりを進めていく。						
課題を残した主な項目				本校	府	全国
学校に行くのは楽しいと思いますか				81%	83%	84%
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか				79%	80%	81%
将来の夢や目標を持っていますか				66%	64%	66%
課題						
・学校に行くのが楽しいと感じている生徒が府平均と比べて少し下回っていた。						
・家でコンピュータやスマホで、ネットやゲームに費やす時間が府平均に比べて多くなっており、受験生として必要な家庭学習の時間との両立に向けて意識を高めていく必要がある。						
課題解決に向けた取組み						
・「カテガクノート(家庭学習ノート)」の継続に、より力を入れていく。						
・引き続き進路学習等を通じて、自分の進路や将来のについて考える時間を設けていく。						
・日々の声かけや、カウンセリング期間を利用して、生徒1人1人と話を聞く時間を充実させる。						
・ご家庭での改善と実行をお願いし、学校では学活や道徳等の時間を活用し、スマホ等の使用の見直しや有意義な時間の使い方を発信し続けていく。						

○保護者のみなさんへ(全体を通じて)

・朝ごはんの項目については大阪府の平均を上回っています。朝からご飯をしっかり食べてエネルギーを蓄えて学校での活動にも元気に前向きに取り組むことができているのだと推察されます。また、「自分にはよいところがある」「先生はよいところを認めてくれている」の項目も全校平均を上回っており、本校としても本当にうれしい結果となりました。日々の学年づくりの成果が出ているのではと感じております。その一方で、学力面では、全国平均を上回る項目もある半面、基礎基本の確実な定着に課題がみられる部分もあり、今後の授業改善に生かしてまいります。

・日々の保護者の皆様の多大な協力もあり、今回のよい結果につながっております。今後もよりよい結果となるようご支援のほどよろしくお願いいたします。